

地域課題・目指す将来像

地域課題

- 移動時間の**定時性確保**や**高齢者の移動のしやすさ**が課題
- 和光市駅～新倉PA間を結ぶ新たな交通手段、及び国道254BP沿線の新たな**産業集積**による就業者の**通勤手段の確保**が課題

将来像

- 本市の地域拠点間を有機的に接続する移動手段について、段階的に自動運転技術及びIoT技術の導入による機能・運用改善を図り、**新たな地域公共交通システムを形成する**

推進体制



課題解決に向けた取組

外環道PAを中心とした交通・産業拠点と鉄道駅間を 連絡する自動運転サービス社会実装

- ・和光市駅と新倉PA、及び周辺の産業集積拠点間の新たな公共交通サービスによる拠点機能の強化
- ・外環道側道部の道路空間を活用した**自動運転車両**走行空間の整備（車線増設による自動運転バスの走行空間の設置）
 - 外環道側道部の専用走行空間化のためのハード整備、自動運転車両の運行機能の補助
- ・GPS及び3D地図作成による車両機能による誘導
- 交差点の交通制御
 - ・**5G通信**による車両と信号制御（ローカル5G）
- ・スマートポール等によるインフラ側での安全制御



対象エリア（和光市駅～新倉PA間）の
自動運転サービスによる広域交通との連携イメージ

2022年度の 主な取組

- 実証実験に向けて、一部専用レーンを先行整備し、翌年度の実証・実装走行に備える
- 自動運転バスの走行に備え、走行予定の車両によるGPS感度調査走行を実施

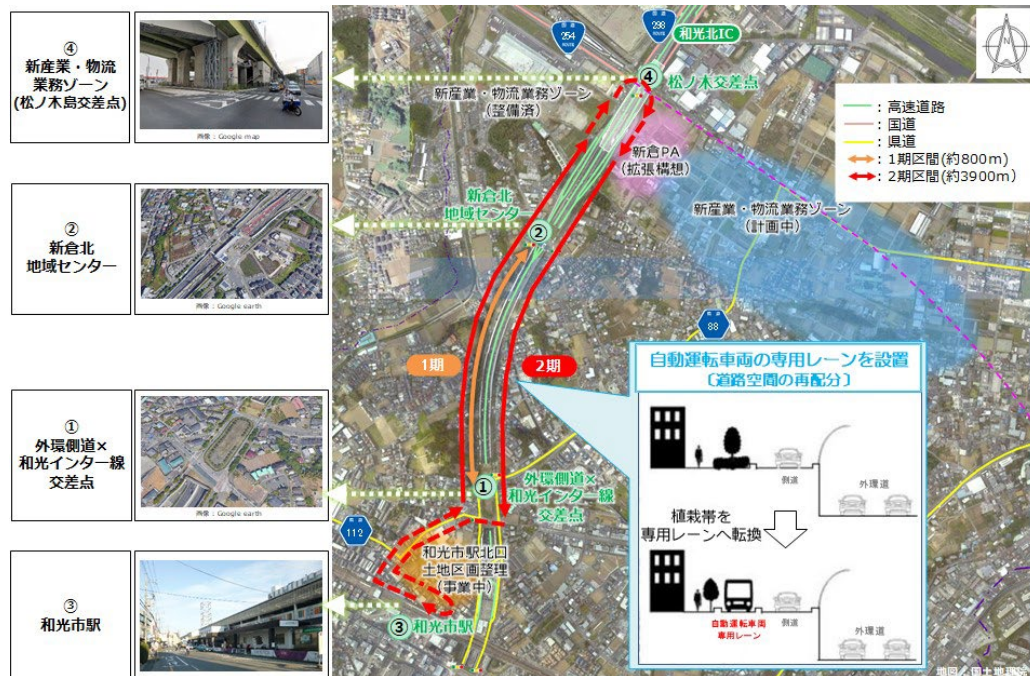
取組内容

(写真・図：和光市提供)

先行区間における実装化計画案の検討と走行空間整備のための道路詳細設計の実施

- 今後の実装化を見据え、ルート等の検討の段階から運営の視点を取入れるため、「**運営予定事業者**」として**東武バスウエスト(株)**を**和光市地域公共交通会議**において選定し、和光市未来技術地域実装協議会で追加委員として承認
- 交通事業者や自動車メーカー、交通管理者、道路管理者の委員を中心に**自動運転車両走行におけるワーキンググループを組織**し、さらに関係する民間企業の参画により、具体的な検討体制を構築
(参画済又は予定の民間企業)
 - ・東武バスウエスト(株)
 - ・本田技研工業(株)
 - ・先進モビリティ(株)
 - ・保険事業者
 - ・インフラ整備事業者

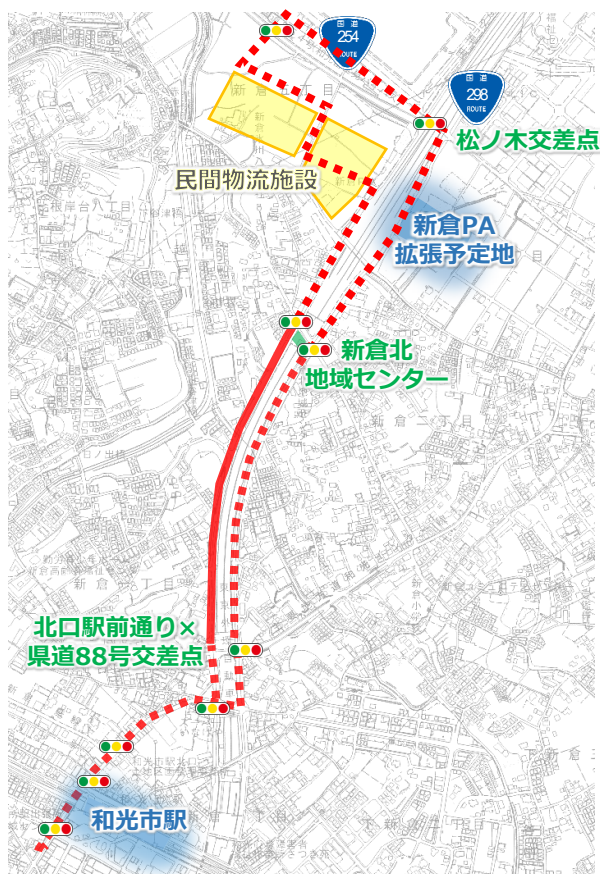
など



取組内容

自動運転車両によるGPS感度調査走行の実施 (2022年9月5日)

- 実装化予定のルートで走行予定の自動運転車両（バス）によるGPS感度調査走行を実施



- 赤線で示す箇所が自動運転バスの予定ルートであり、走行を予定している自動運転バスによるGPSの感度調査走行を実施（赤線のうち、実線部分は車線増設整備工事を実施）

導入予定車両



GPS感度調査走行のようす



- 導入予定車両は「日野ポンチ」タイプの自動運転車両
GNSS、3D地図と車両センサ情報を組み合わせ、自車位置検出を多重化した自動運転を実施